

# 浄心寺だより

発行  
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081  
笠岡市笠岡2065  
電話(0865)62-2623  
FAX(0865)62-2595  
振替01260-9-13760  
<http://joshinji.suki-ari.net/>



聖人の遺徳を偲んで

## 「み法を味わって」(五)

私はキャッチャー

ご仏縁を得る、法事を営む、お寺に参るなどというチャンスは、仏法を聞くことに意義があるのです。つまり、仏さまからの声を聞くことです。

仏さまがピッチャーで、私はキャッチャーです。自分がピッチャーのつもりで祈ったり、願ったり、何かを誰かにしてやってやるのだなどと思つてはいないでしょうか。自分がキャッチャーだと気がつかないと、受けとろうとしません。だからボールがどこかへ行つてしまい、まわりが迷惑します。取る気になつて、ピッチャーと真正面に向き合い、体の真ん中でしっかりと受け止めることです。また、キャッチャーがいつまでも握つていてはだめです。ボールを丹念にこねて、それをピッチャーに返さなくてはなりません。

仏法を聴聞し、活動力をみなぎらせて、御恩報謝をさせていただくことです。仏さまとバッテリーを組んで素晴らしい人生を過ごしましょう。

鷹谷俊昭著 『月ごとのことば』 転載

ごあんない

三月十九日(金) 十三時半より

### 春季彼岸会・永代経法要

講師 福山市新市町 西福寺 山名孝彰師

# 報恩講法要 勤修



十二月五日、報恩講法要が始まりました。報恩講とはいわば親鸞聖人のご法事で、七五〇年以上にわたって毎年勤められる法要です。例年なら正午から仏教婦人会の調製によるお齋(とき)をいただくのですが、今年はコロナ禍で中止となりました。

十三時半から正信偈をお勤めしました。備中里組の僧侶である法中(ほつちゅう)がたの出勤は今年は中止となり、住職と前任住職でつとめました。さいごに住職が親鸞聖人の伝記『御伝鈔』を拝読。ご講師は福山市内海町の善正寺住職、那須英信先生でした。中国、杭州で役人をしていた白楽天が、鳥巢禅師という高名なお坊さんに「仏教とは何か?」という質問をしました。禅師は『涅槃経』に出てくる偈文「諸悪莫作 衆善奉行

自浄其意 是諸仏教」と答えた

そうです。すなわち、「悪いことをするな。良いことをしなさい。自分の心を清らかに保ちなさい。

これが仏教です」と。それを聞いた白楽天は「そんなことは誰でも知っている」と非常に怒りましたが、禅師は「知行合一」と言われました。頭では分かっていますが、実際にその通りに行動できていますか、ということ。そういわれると、非常にあやしいところがある私たちです。赤信号で横断歩道を渡ってはいけない、ということとは分かっています。車がまったく来ていないときに渡ってしまったことはないでしょうか? 禅師の引用した偈文は、ごく当たり前のことを言っているようですが、実際にそのように行動するとなると非常に難しいのです。

親鸞聖人は自分はそのようにはできていない、自分の心は清らかどころか、どこまでいっても醜さを離れることができない、と言われました。そんな自分の唯一救われてゆく道は、醜いそのままでも救われる、という阿弥陀如来の極楽浄土の教え以外にないと、この道を選んでいかれたのです。

コロナ禍ではありましたが、多くのお参りがありました。

## やさしい仏教講座

第7回 12月10日(まとめ)

### 『日常勤行聖典』

わたしたちが日頃お仏壇の前で使うお経本は『日常勤行聖典』です。そこには、お釈迦さまがお説きになった『経典』と、それを後の高僧が解説した『論典』が収められています。具体的には、『仏説阿弥陀経』『讃仏偈』『重誓偈』『経典』、親鸞聖人の著『正信偈』『和讃』と龍樹菩薩が著された『十二礼』が『論書』となります。

日頃はこれをおつとめすればいいの、とよく聞かれますが、浄土真宗のお経はどれも同じ目的をもって書かれたものですから、どれも構いません。お経によって長さや節回しが違いますから、自分にとって、あるいはその時、一番読みやすいものを唱えてください。

親鸞聖人は、いくら修行しても悩み、苦しみ、ねたみ、そねみ、欲、醜い心の断ち切れない自分にとつて、何より必要なのは「阿弥陀如来の極楽浄土」の教えである、と考



→ 日常勤行聖典

えるに到り、浄土真宗を開宗されました。

したがって浄土真宗のお経本はすべて、極楽浄土についての教えが説かれたものです。

### 『家庭での仏事』

お仏壇での望ましいお参りの仕方は、まずは朝晩のお参りです。そこでは『正信偈』をおつとめするのがよいとされます。しかし、先に述べたように、自分に合ったものを読誦されればいいですし、朝晩は難しいという方は、日に一度でもいいのでお参りしましょう。何のためにお参りしているのか、というところ、お願いごとをしたり、御先祖さまお守りください、ということではありません。「さまざまなおかげに感謝」してお参りください。「阿弥陀さまの御恩に感謝する」という表現もしますが、言い方を変えれば「自分とかがわりのあるあらゆる命に感謝する」ということです。お仏壇の前で身近に亡くなった方々をしのびながら、同時におかげさまの中で生かされている自分の身に気づかせていただき、ともすれば自己中心的な生き方になってしまいがちな自己を厳しく点検していくことこそ、何よりのお参りの意義です。

## 令和3年度 行事計画

◎ 春季彼岸会、永代経	3月19日(金) 13時30分	福山市新市町・西福寺 山名孝彰 師
◎ 花まつり	4月29日(木)	白印茶会も開催中(予定)
◎ 初参式	5月4日(火) 10時	希望者とその家族
◎ 総会	5月9日(日) 11時30分	
◎ 降誕会	13時	チャリティコンサート 芳井町・光栄寺 佐藤知水 師
◎ 法物 虫ぼし法座	7月16日(金) 13時30分	今治市大三島・万福寺 浅野執持 師
◎ サマースクール	7月21日(水)	教区内スタッフ 2名
◎ 盂蘭盆会	8月15日(日) 10時・14時	住職、前住職
◎ 秋季彼岸会、永代経	9月22日(水) 13時30分	福山市神辺町・光行寺 刈屋光影 師
◎ 地区委員会	12月4日(土) 11時	
◎ 報恩講	13時30分	三次市・源光寺 福間玄猷 師
◎ 除夜会、修正会	12月31日(金)・元旦	
◎ 新春のつどい	令和4年1月中旬	
◎ 春季彼岸会	令和4年3月 日時未定	講師未定
あさのおつとめ	通年毎朝6時	
◇ やさしい仏教講座 なるほど浄土真宗	【9】4/7(水) 【10】6/10(木) 【11】8/21(土) 【12】10/12(火) 【13】12/14(火) 毎回19時30分 解説：住職	
◇ 念仏のつどい	毎月15日 13時30分より (但し1、8、9月はお休み、6、7月は7:30から)	
※「浄心寺だより」発刊	135号(5月) 136号(7月) 137号(11月) 138号(3月)	
仏教婦人会	総会 例会 各種研修会 研修旅行 料理教室 福祉施設慰問 清掃奉仕など 5/4(火)初参式	
文化箏同好会	毎月第1金曜日 13時30分 指導：平田澄子 先生	
女声コーラス コール清風	毎月第2土曜日 9時30分 指導：平田澄子 先生	
本山関係	千鳥が淵全戦死者追悼法要 など	
備後教区	各種研修会 定例法座(毎月11日) 報恩講(11/30) 総代研修会	
備中里組	同朋研修協議会 キッズサンガ など	

### 家族そろってお聴聞

——み教えは心のビタミン、いのちのよりどころ——



やさしい仏教講座

第8回 2月3日(まとめ)

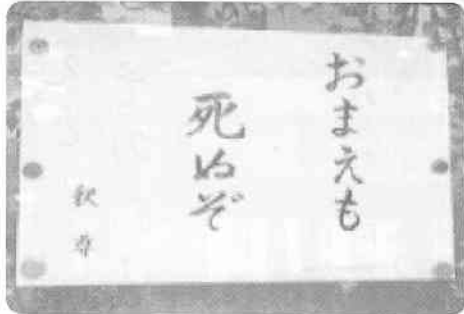
『輝け！お寺の掲示板大賞』

最近話題になっているお寺の掲示板。仏教伝道協会主催の今年の大賞は「コロナよりも怖いのは人間だった」。このほか「のぞみはありませんが、ひかりはあります」「隣のレジは早い」「本当に神仏を拜んでいますか、欲望を拜んでいませんか」「お前も死ぬぞ。釈尊」などを紹介しました。



▲ 仏教伝道協会大賞2020

▼ 仏教伝道協会大賞2018



『ハリス副大統領』

新アメリカ大統領にバイデン氏が就任されましたが、副大統領候補が女性ということで注目が集まっています。そのカマラ・デヴィ・ハリスさんは父がジャマイカ人、母がインド人。「カマラ・デヴィ」というのはインド語で「蓮の女神」。これはヒンドウ教の女神ラクシュミーの別名です。美と富と豊穡と幸運を司る女神。アメリカを良識ある国家に導いてくれることに期待しましょう。



『おつとめる意味と感謝の心』

仏前でおつとめる意義は何でしょう？「いついかなるときも私たちのためにはたらきかけてくださっている阿弥陀仏を称え、そのおこころのうちに救い取られていることに対して、感謝の気持ちから行う」のがおつとめだ、と言えます。

では、阿弥陀さまにおまかせしたら、どうなるのでしょうか？「お救いください」とは、不安を取り除いたり、安心を与えてくださるということですよ。ただし、その安心は、『阿弥陀さま』という人格からではなく、お経に説かれる『教え』の内容からいただいでいくことが大事です。

『お寺での法要、儀式』

浄土真宗は仏さまの話を聞くこと、すなわち「聴聞」を非常に大切にします。お寺でいろんな法座があります。その一番の目的は私たちの聴聞にあります。心得として、「このたびのご縁は初事と思ふべし」「このたびのご縁は我一人のためと思ふべし」「このたびのご縁は今世最後と思ふべし」といわれます。

『維摩経』

このお経は私たちの用いる『阿弥陀経』などとほぼ同時代、紀元前後に作られた大乘経典です。在家の維摩居士という人が、お釈迦さまの弟子たちを優れた仏教理解と巧みな弁舌でやりこめる、物語風の経典です。ネット上には「超訳維摩経」として、現代語で面白おかしく翻訳されたものがあります。ぜひご一読ください。

ヨガしませんか？

毎週金曜日 10:30～11:30 和室にて

☆凝った身体が軽くなります





教えと

そのあゆみ



私たちの宗門(8)

聖教(5)

前号から親鸞聖人のあらわされたご著作を紹介しています。今回は日常のお勤めとして親しみのある『正信偈』です。

正信偈はいわゆるお経ではありません。お経はお釈迦さまのご説法を表わしたのですが、お正信偈は親鸞聖人が著された『教行信証』第二巻の巻末に出てくる七言一句、百二十句の偈頌(詩句)です。

最初に阿弥陀仏の尊号をあげて自らの帰敬の意をあらわし、次に阿弥陀仏の本願とそれを説いた釈尊の教えについて示し、次に七高僧の論釈にしたがつて、それぞれの積功をたたえ、終わりに「真実信心を得て往生を願うべきこと」を述べて結んであります。

本願寺では当初の日常の勤行には『礼讃』が読誦されてきました。蓮如上人が文明五年(1473)に「正信偈」に「三帖和讃」

を合わせた四帖一部を刊行し、このころから正信偈と和讃とを組み合わせた勤行が行われるようになりました。わたしたちの本願寺派では、その唱え方に真譜、行譜、草譜などがあります。普段わたしたちが依用しているのはこの内の行譜です。なお、昭和二十三年(1948)に蓮如上人四五〇回忌の記念事業として「正信偈」が訳され、意訳勤行「しんじんのうた」が制定されました。また、昭和四十八年(1973)には真宗教団連合において親鸞聖人御誕生八〇〇年、立教開宗七五〇年の共同事業として、共通勤行「和訳正信偈」が制定されています。

浄心寺の奇景3

斜めに樹つ

「カイツカイブキ」



山門を入ったすぐ右手に大きな「カイツカイブキ」(貝塚息吹)の樹があります。常緑樹で年中、青々として目を和ませてくれます。

ところが、どうしたことか60度くらい本堂のほうに傾いているのです。今にも倒れそうですが、台風で強い風が当たっても、平然としています。この傾いた大木を支えているのは根が縦横に拡がっています。表には表われない陰の力、「おかげ

山門を入ったすぐ右手に大きな「カイツカイブキ」(貝塚息吹)の樹があります。常緑樹で年中、青々として目を和ませてくれます。

私たちも危なっかしい、不安な人生を送っています。それを支えてくれている「心の根」となると私をしっかりと支えてくださる阿弥陀さまのお心に、自ずと手が合わされます。

この「カイツカイブキ」も阿弥陀さまのおみのりをしっかりと聴こうと、本堂に向かって身を乗り出している姿かもしれません。

編集後記

門前のこぶしの花が咲き、池の鯉が跳ね、汀の亀は目覚めて水中。世は、新型コロナウイルスの風が吹き諸行無常です。

昨年十二月の報恩講、除夜会、修正会等々の諸報告、三年度行事計画、春季彼岸会・永代経法要等、今後の予定をお知らせする浄心寺だより第134号をお届けします。法要、法座のご縁を頂き、ご聴聞に励まれますようご案内申し上げます。(編集委員U.)



除夜の鐘を撞きました